

対象製品名：

# UFO CATCHER 8<sup>TM</sup>

(直管型蛍光灯タイプ)

ご提案する対策を講じることにより、次の通り節電されます。

節電力	約 193 W
節電割合	約 61%

## 対策内容

製品付属の取扱説明書を参考に対策を行ってください。

対策、作業	プライズ落とし口の蛍光灯用のサブライトスイッチを切り、天井部の奥側、同系統の蛍光灯 2 個を取り外してください。
参考) 添付資料	「取扱説明書」(420-7195) 抜粋 P. 41, P. 131 – P. 134 ※ お手元のマニュアルの版によっては、ページが異なる場合があります。

また、技術的なお問い合わせは、下記のカスタマサポートまでご連絡お願いいたします。

## お問合せ先

### 株式会社セガ・ロジスティクスサービス

カスタマサポート (機械に関する総合窓口)
フリーダイヤル 0120-412-159 (全国共通)
基本受付時間 平日 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 18:30
※ 技術相談につきましては、年中無休で受け付けております。
※ 携帯電話、PHS からもご利用になれます。



このご提案は、今夏の電力事情を考慮した緊急的な節電対策です。  
対策内容はあくまでご提案であり、強要するものではありません。  
各店舗のご使用状況により、効果が異なる場合があります。

### 7-3 サービスパネル

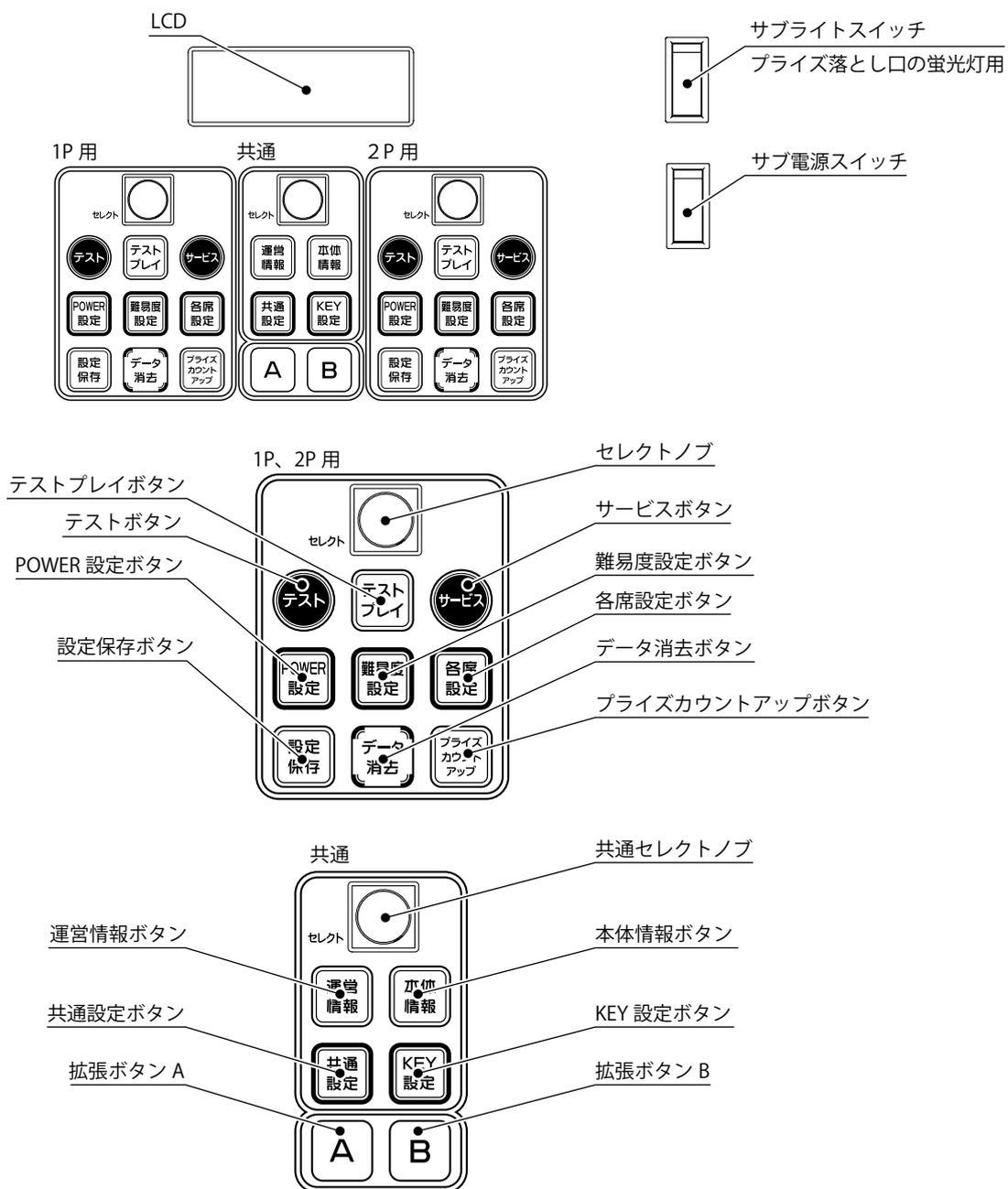
#### ⚠ 警告

指定以外の箇所には絶対に触れないでください。指定以外の箇所に触れると、感電や短絡事故の恐れがあります。

**STOP**  
重要

長期間電源が入らないと運営情報や各種設定のデータが消失しますのでご注意ください。バックアップデータ保存期間は約 1 週間です。

キャビネット正面下のサービスドアを開けると、サービスパネルがあります。



7-3 図 01

## 11 蛍光灯、ランプの交換

### ⚠ 警告

- 作業は店舗メンテナンスマンか技術者が行ってください。感電など重大事故の原因となります。
- 作業は必ず電源を切ってから行ってください。感電や短絡事故の原因となります。
- 指定の定格のランプを使用してください。異なる定格のランプを使用すると火災や故障の原因となります。
- 熱くなった蛍光灯やランプにより火傷をする危険があります。交換時には十分注意してください。
- 配線を傷つけないように注意してください。配線を傷つけると、感電、短絡事故の原因となります。
- 経年変化などの原因で、照明器具の絶縁劣化などにより、短絡事故や発煙事故の恐れがあります。焦げ臭いにおいがする、ソケットが変色している、ランプの交換が多くなっている、蛍光灯のつきが悪いなど異常が無いか確認してください。
- 蛍光灯、ランプの交換前にアジャスターが着地していることを確認してください。交換時にキャビネットが移動して事故の原因となります。

### ⚠ 注意

- 指定以外の部品を持って UFO メカを動かさないでください。指などを挟んでケガをする恐れがあります。
- プラスチック製部品の固定のときは、ネジ、ナット類の締め付けすぎに注意してください。締め付けすぎると、部品を破損して、破片などで負傷する原因となります。

STOP

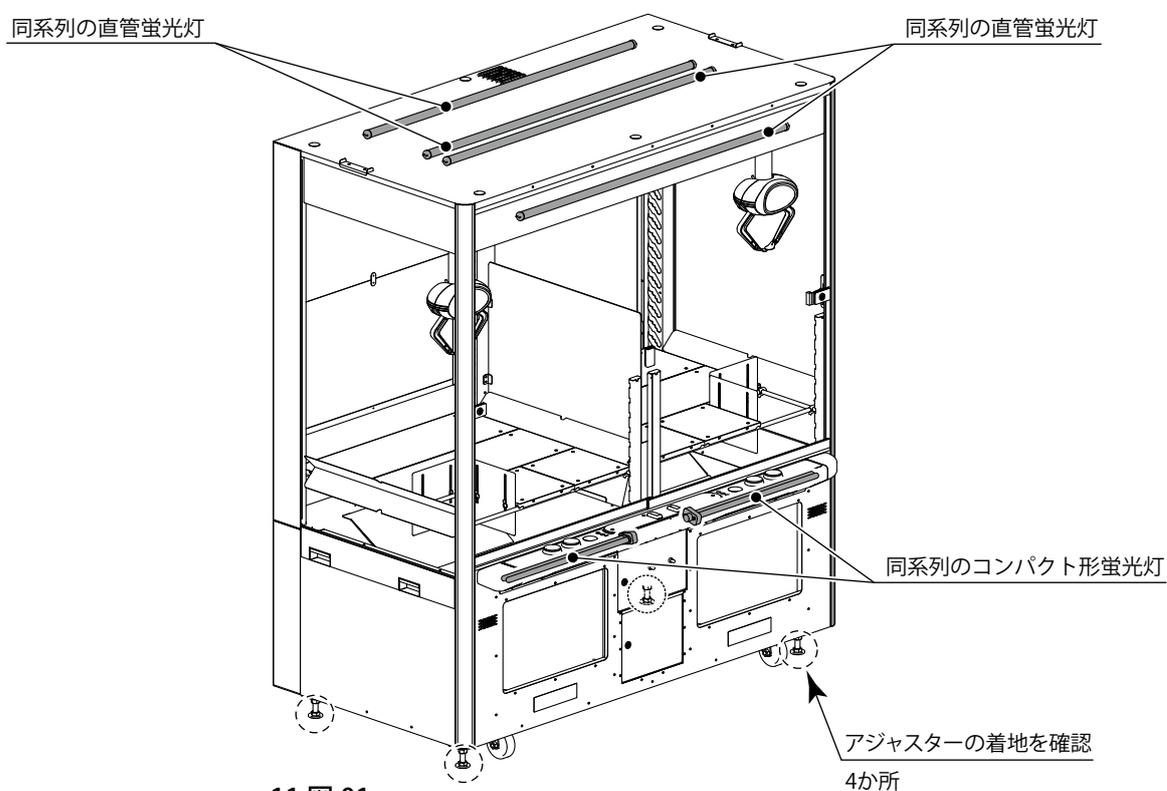
重要

仕様変更により対応する蛍光灯の種類が異なる場合があります。よくご確認の上、交換作業を行ってください。

本製品は、2灯用の電子安定器を使用しています。よって2灯が同じ系列になります。同じ系列において、いずれか片側の蛍光灯に異常（寿命や故障など）があり点灯できない場合や適切に装着されていない場合、もう片側の蛍光灯も安全のため点灯しません。

片側の蛍光灯が正常でも、もう片側の蛍光灯の状態により正常な蛍光灯も点灯しない場合があります。つまり同じ系列の蛍光灯の片側のみを点灯させることができません。蛍光灯の交換は作業性を考慮すると、同じ系列の蛍光灯を2灯同時に交換することを推奨します。

また、本製品ではコンパクト形蛍光灯と直管形蛍光灯の2種類を使用しています（下図参照）



11 図 01

## ビルボード部の直管形蛍光灯

- 1 電源を切ります。
- 2 プライズマスターキーで解錠してガラスドアを開きます。
- 3 ビルボードを取り外します。
- 4 蛍光灯を交換します。同系列の2本を同時に交換することを推奨します。

高周波点灯専用直管形蛍光灯 FHF32W  
390-6921-32-01 (Hf 専用)



11 図 02

## 天井部の直管型蛍光灯

- 1 電源を切ります。
- 2 プライズマスターキーで解錠してガラスドアを開きます。
- 3 UFO メカをホームポジションに移動します。図の示す所に手を添えてメカをゆっくりと移動してください。他の部品を持って動かさないでください。指を挟まれてケガをする恐れがあります。また、メカ機構部を破損する恐れがあります。図は 2P 側です。1P 側も同様に作業してください。

ボックスを支持して移動



11 図 03

**4** 1P側のソケットから先に蛍光灯を取り外します。



11 図 04

**5** 2P側のソケットから蛍光灯を取り外します。  
 ※ 蛍光灯をケーブルベヤブラケット Y に当てないように注意してください。



ケーブルベヤブラケット Y

11 図 05

**6** 手順 4、5 を参照して、逆の手順にて新しい蛍光灯に交換します。同系列の 2 本を同時に交換することを推奨します。

※ 奥の蛍光灯の交換が困難な場合は「6-2 シッピングブラケットの取り外し」の手順 4、5 を参照し、バックボードを取り外して裏側から交換してください。

高周波点灯専用直管形蛍光灯 FHF32W  
 390-6921-32-01 (Hf 専用)



11 図 06